

2012年1月30日
株式会社朝日ネット

Press Release

一橋大学大学院国際企業戦略研究科に クラウド型教育支援システム「マナバ」を導入

株式会社朝日ネット(東証一部、本社:東京都中央区、代表取締役社長:山本公哉、以下「朝日ネット」)は、一橋大学大学院国際企業戦略研究科(所在地:東京都千代田、以下「一橋ICS」)に、クラウド型ポートフォリオシステム「マナバフォリオ」を導入いただきました。

一橋ICSは、国際的なビジネスのプロフェッショナルを養成するため、グローバル規模で社会に貢献できるスペシャリストの育成に焦点をあてた高度な専門教育を行う大学院です。英語で行うフルタイムのMBAプログラム(国際経営戦略、以下IBS)と日本語で行われるパートタイムの専門プログラム(金融戦略・経営財務および経営法務)とで構成されており、“Best of Two Worlds”をそのミッションに掲げています。中でも最大規模のIBSプログラムでは、世界中のビジネススクールで広く用いられるケース・メソッドを採用する一方、ナレッジ・マネジメントやグローバル・シチズンシップなど他のビジネススクールにはない特色ある授業を必修科目としています。授業を含めクラス内外のコミュニケーションは全て英語で行われ、世界20カ国以上から様々なバックグラウンドを持つ学生が集まり学んでいます。

「マナバフォリオ」は、そのような特色ある一橋ICSの授業を全面的に支援するメイン・プラットフォームとしてご利用いただいております。他のプログラムに先行する形で導入されたIBSプログラムでは、ケース・スタディがメインとなっている授業形態に合わせ、教員は予め授業ごとに、学期中の授業計画や、当日使用する資料、課題を提示し、学生の事前学習を促します。各授業前には「オンライン・ポール」として、授業で扱う議題に関してウェブ上でアンケートが実施され、教員は学生の回答内容を元に当日の授業構成を組み立てています。さらに授業後には、サマリーやまとめの資料を共有し、学生の事後学習を促すなど、授業前の準備から授業後の振り返りまで、学生、教員双方を総合的にサポートするツールとして、有効活用いただいております。このIBSプログラムでの成功を受け、4月からは全プログラムでマナバが導入されることになりました。各授業の内容は、マナバを通してすべて教員間で共有されており、各授業で使用されるケースやテーマの重複をさけたり、科目間の連携を強化したりすることで、学校全体の教育の質を高めることにもお役立ていただいております。



今後は、授業で提出したレポートを各学生のポートフォリオへ蓄積、個人ポートフォリオを構築してきめ細かい指導に活かすなど、さらなるご活用も予定していただいております。朝日ネットは、「マナバフォリオ」の提供とそのサポートを通して、一橋 ICS のグローバル規模で社会に貢献できるスペシャリストの育成に、より一層の貢献をしてみたいと考えております。

クラウド型教育支援システム「manaba folio(マナバ フォリオ)」について

manaba folio(マナバ フォリオ)は、クラウドサービスで提供される、全く新しいポートフォリオシステムです。学習の成果をポートフォリオに貯め、本人がふり返り、学生同士で評価しあうことを実現します。「manaba folio(マナバ フォリオ)」の詳細はこちらをご覧ください。

<http://manaba.jp/about-folio.html>

学校名: 一橋大学大学院国際企業戦略研究科

設立: 2000年

研究科長: Christina Ahmadjian

所在地: 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2
学術総合センター内

URL: <http://www.ics.hit-u.ac.jp/>

学生数: 312名(2012年1月現在)

コース:

国際経営戦略コース(昼間・英語)

金融戦略・経営財務コース(夜間・日本語)

経営法務専攻(夜間・日本語)



<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 経営企画室 TEL 03-3569-3835

<商品・システムに関するお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット グローバル戦略室 TEL 03-3569-3523